

根岸音頭 ～踊りを通じて地域を一つに～



根岸地区
連合町内会
木村会長

根岸地区の「根岸音頭」について、根岸地区連合町内会^{きむらてつお}木村鉄男会長にお話を伺いました。

○根岸音頭とは

根岸音頭は平成7年に根岸地区連合町内会発足10周年を記念して作られました。作詞・作曲は、「北上夜曲」で知られる作曲家^{あんどうむつお}安藤睦夫氏が手がけています。

根岸地区の運動会や夏祭りなど、さまざまな行事で使われ、地域に定着している音頭です。

○作られたきっかけ

公民館初代館長である^{たかはしろくぞう}高橋六蔵氏が、地域の一体感を深めるものを作りたいと考えたのがきっかけです。

振り付けは、公民館自主クラブの踊りの講師であった^{あかさか}赤坂イネ子氏が、子どもからお年寄りまで楽しめるものを考えました。

○みんな大好き根岸音頭

完成した根岸音頭は、公民館講座から各町内に広まり、やがて小中学校の運動会でも踊るようになりました。運動会が近づくと、婦人会の方々が学校に教えに行き、当日も一緒に参加して、踊ります。

覚えた子どもたちが夏祭りで踊ることで、親や祖父母たちも祭りに参加するようになり、やがて地域全体に広まりました。

○踊りを通じて地域を一つに

根岸音頭は地域の中で親しまれ、今ではなくてはならないものとなりました。

世代を超え、立場を超え、人々の心を^{つな}繋ぐとともに、地域への愛着と一体感を育んでいます。



根岸小学校運動会の様子